

石岡市立杉並小学校 学校長：岡野 晋一

【実施日時】	平成20年7月16日(水) 午前9時～11時50分
【参加者と人数】	1・6年生(162人) 2・5年生(179人) 3・4年生(189人)
【コーディネーター】	山形 正子
【講師】	チャクル・ムラット(トルコ) バンズラグチ・バヤルツエツエク(モンゴル) 西村ルミアナ(ブルガリア) オレリアン・バロン(フランス) アンバー・チャン(オーストラリア) ジョナサン・マイケルズ(アメリカ)
【活動内容】	始めの言葉・講師の自己紹介 グループごとの交流(講師の先生に自分の国の紹介をしてもらい・歌やゲームを紹介してもらいみんなで遊ぶ)
【参加者の感想】	<p>わたしはどんな人がくるのかワクワクとともに体育館に行ったら・・・トトロの服を来た人や背がとても高い人がいました。1班の先生はトルコのムラット先生で、とても楽しい先生でした。国旗の意味や料理、じゅうたんのことを教えてくれました。マッチ棒のマジックにも驚きました。わたしの質問にもきちんと答えてくれて疑問がとけました。</p> <p>わたしは『スーホーの白い馬』を読んで、馬頭琴がどんな楽器か知りたかったのでモンゴルの先生の話聞くのを楽しみにしていました。本物の馬頭琴があったときはとてもうれしかったです。夏のお祭りの話を聞いたり、羊の骨で遊んだりしてとても楽しかったです。お金も初めてさわられてうれしかったです。友達や家族にも教えてあげたいです。</p> <p>ブルガリアの海はサメなどのこわい動物もいないし砂浜もゴールドでとてもきれいなんだそうです。わたしたちの住んでいる所の海はごみもたくさん落ちているしサメもいるし、「ブルガリアの海は良いなあ」と思いました。だからこれからは砂浜にゴミを捨てないようにして、いつかはブルガリアのようなきれいな海にできたらいいです。ブルガリアの言葉はとても難しかったけど、いつか行ってみたいです。</p>
【担当者の感想】	講師の方が身振り・手振りを交えてお話しをして、子ども達を引きつけていた。6人の先生が出身国と名前を書いたプラカードを持って入場したが、第2部以降はわざとプラカードを入れ替えて持ち、子ども達も大喜びで出身国をあてていた。子ども達を喜ばせたいという強い気持ちが伝わってきた。5年生は総合の学習で外国の文化について調べ学習を行っており、より一層理解を深めることができた。5年生はもちろん、他の学年の子たちも積極的に質問していた。

